

平成29年3月期第2四半期

決算補足資料

平成28年11月7日



英和株式会社

(東証二部 9857)

平成29年3月期第2四半期 連結決算概要 …… P.3

平成29年3月期 連結業績見通し …… P.17

平成29年3月期第2四半期 連結決算概要

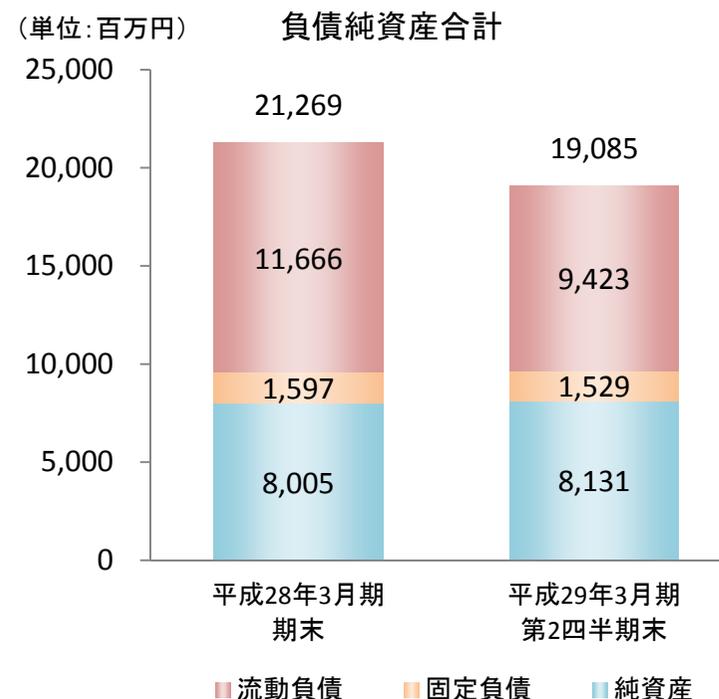
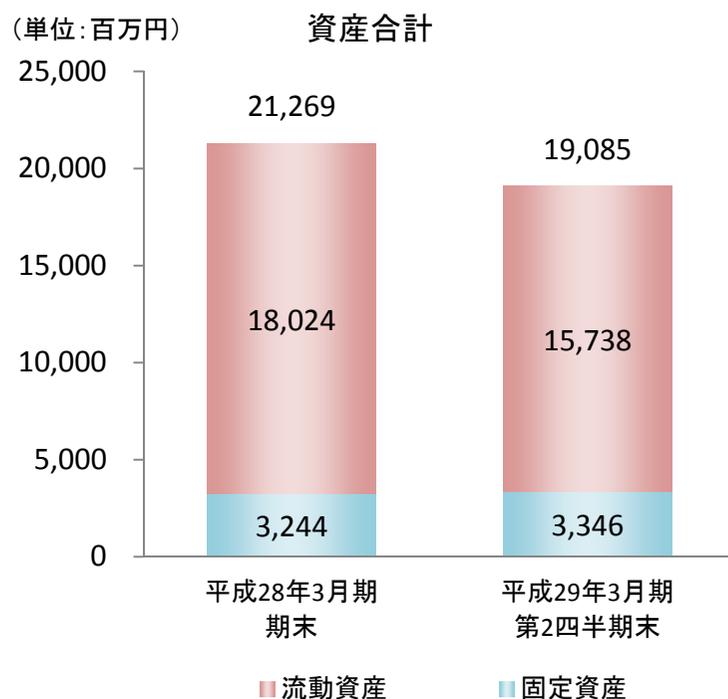
連結決算概要

(百万円)	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増減額	前年 同期比	平成29年3月期 業績見通し	進捗率
売上高	14,332	14,396	+ 64	+ 0.4%	34,000	42.3%
営業利益	262	318	+ 55	+ 21.3%	1,030	30.9%
経常利益	270	354	+ 84	+ 31.4%	1,030	34.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	154	232	+ 78	+ 50.5%	660	35.2%

決算の概況

- 石油化学コンビナートの定期修理需要を主体としたプラント・エンジニアリング向け工業用計測制御機器や化学品製造業向け環境計測・分析機器の販売が好調で、電力会社向け産業機械の販売も伸長しました。また、国内子会社の業績が堅調で、利益率改善努力の成果もあり、前年同期比増収増益となりました。

バランスシート(連結)



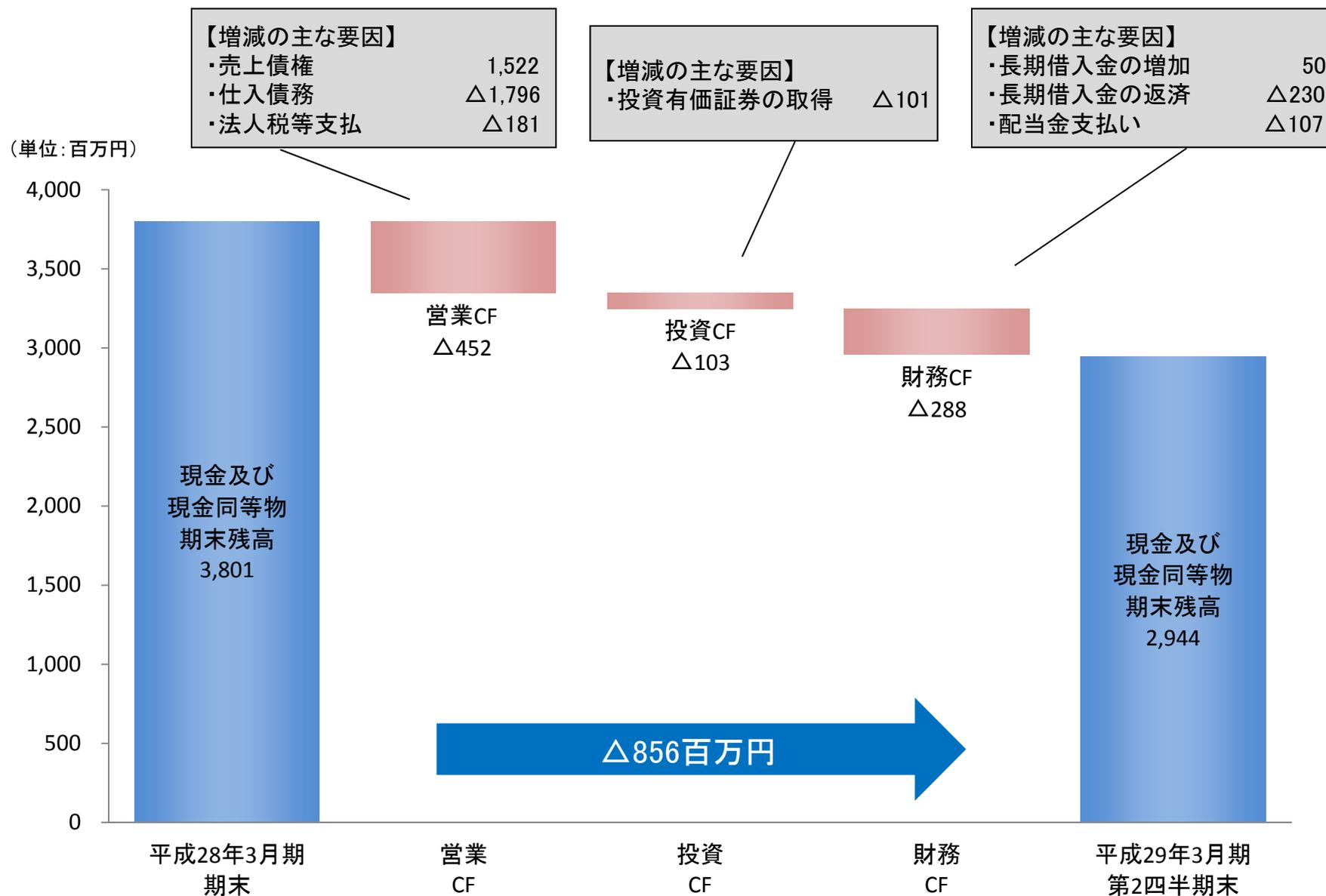
平成29年3月期第2四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

資産	【増減の主な要因】
◆受取手形及び売掛金: 11,838(△1,530)	売上債権の回収が進んだことによる減少

負債・純資産	【増減の主な要因】
◆支払手形及び買掛金: 8,536(△1,807)	仕入債務の決済が進んだことによる減少
◆純資産: 8,131(+126)	配当の支払いにより減少したが、四半期純利益により増加

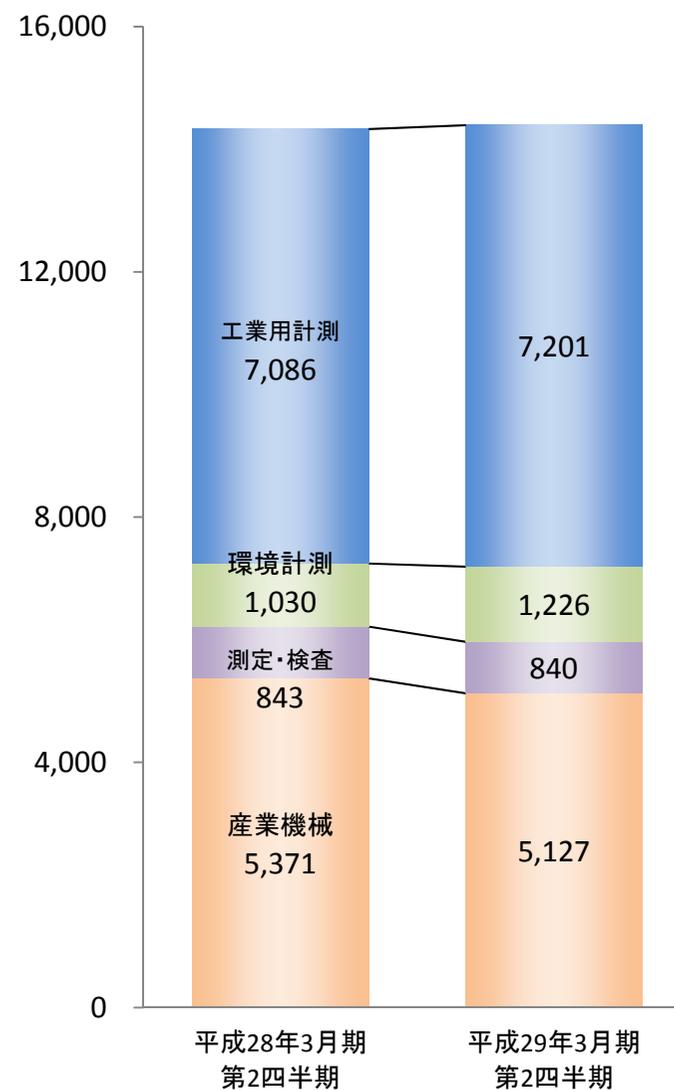
平成29年3月期第2四半期自己資本比率:42.6%

連結キャッシュ・フロー



品目別売上高

(百万円)	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	7,086	7,201	+ 1.6%	50.0%
環境計測・ 分析機器	1,030	1,226	+ 19.1%	8.5%
測定・ 検査機器	843	840	△ 0.4%	5.9%
産業機械	5,371	5,127	△ 4.6%	35.6%
合計	14,332	14,396	+ 0.4%	100.0%



工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

取扱い商品一例

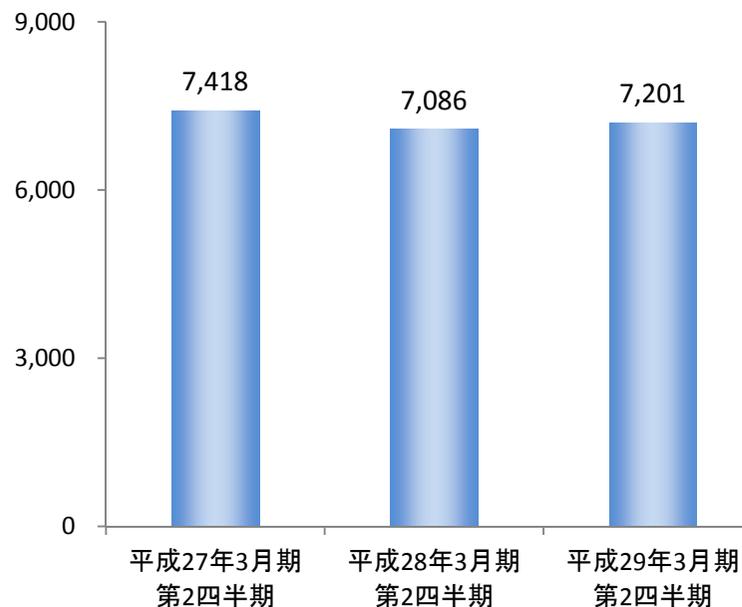


電波レベル計



記録計

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

72億1百万円(前年同期比1.6%増)

船用機器製造業向けについては、造船需要減によりディーゼルエンジンの生産調整が行われ、この影響を受け販売が伸び悩みましたが、化学品製造業向けに大型定期修理に伴う各種センサーの更新需要が伸びた他、鉄鋼製品製造業向けに設備の状態監視システムの販売が増加しました。

環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆ 水質・ガス・大気分析機器
- ◆ 気象観測機器
- ◆ 振動・騒音・臭気測定機器

取扱い商品一例

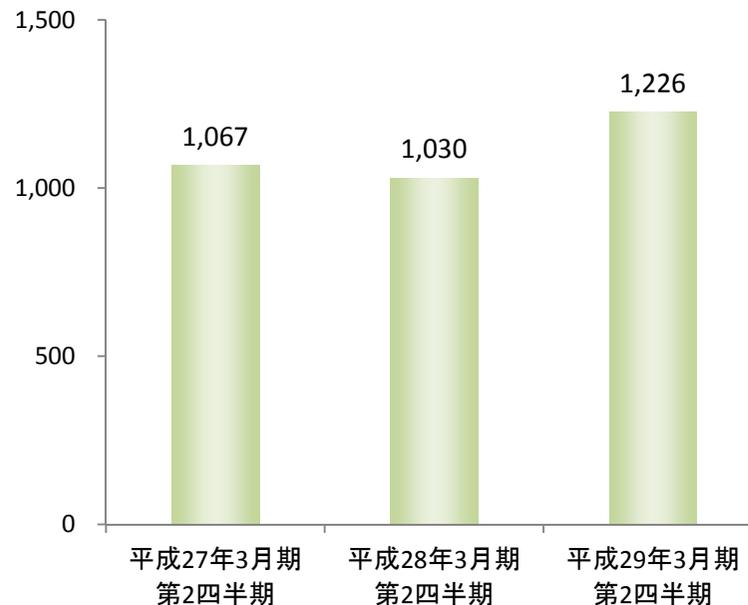


複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

12億26百万円(前年同期比19.1%増)

下水処理施設用水質計や、大型定期修理に伴う化学品製造業及びプラント・エンジニアリング向け水質・大気・ガス分析計の設備更新が堅調に推移しました。

測定・検査機器

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポート。

- ◆ 形状検査・試験機器
- ◆ 非破壊検査・試験機器
- ◆ 材料検査・試験機器
- ◆ 電力監視機器・システム

取扱い商品一例

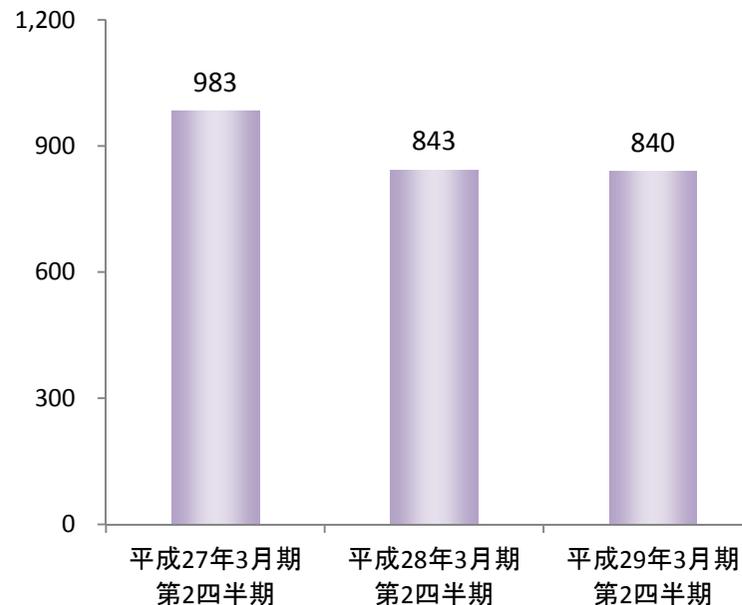


工業用内視鏡



輪郭形状測定器

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

8億40百万円(前年同期比0.4%減)

自動車部品製造業向けに画像診断装置やオイル清浄度検査機器の販売が伸長しましたが、前年のような大型案件が減少しました。

産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

取扱い商品一例

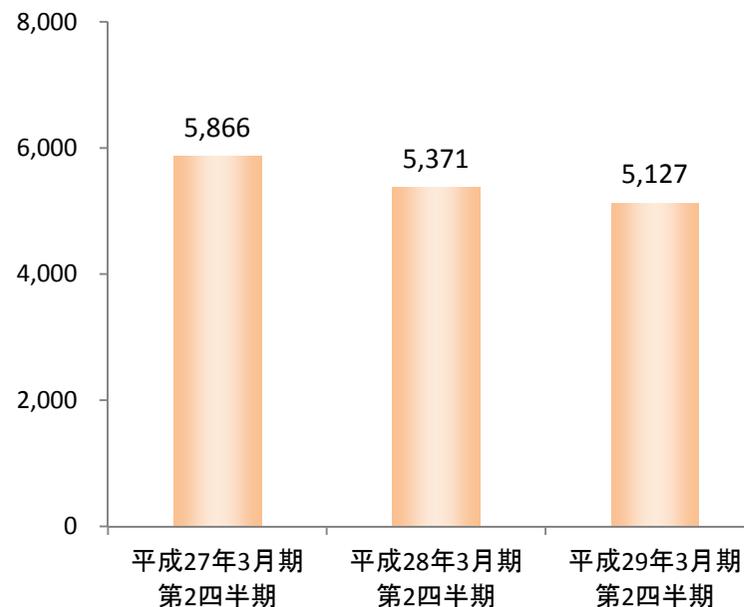


ポンプ



路面清掃車

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

51億27百万円(前年同期比4.6%減)

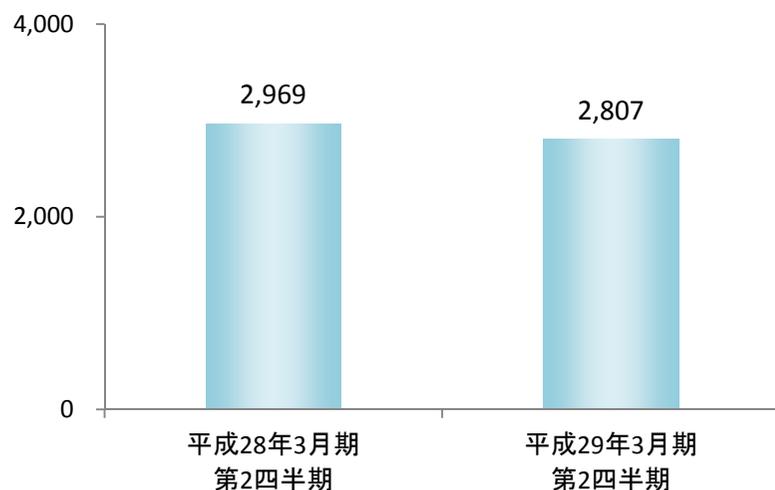
官公庁向けに産業車両の販売が好調に推移しました。化学品製造業向けに大型定期修理に伴う計量システムの更新や、電力会社向けに老朽設備の更新に伴うポンプ、バルブの販売が増加しましたが、メガソーラー関連付帯機器の販売が減少しました。

機器別売上高

「環境・安心・安全・品質」をキーワードとした環境配慮型機器及び保安・メンテナンス機器の拡販

環境配慮型機器

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

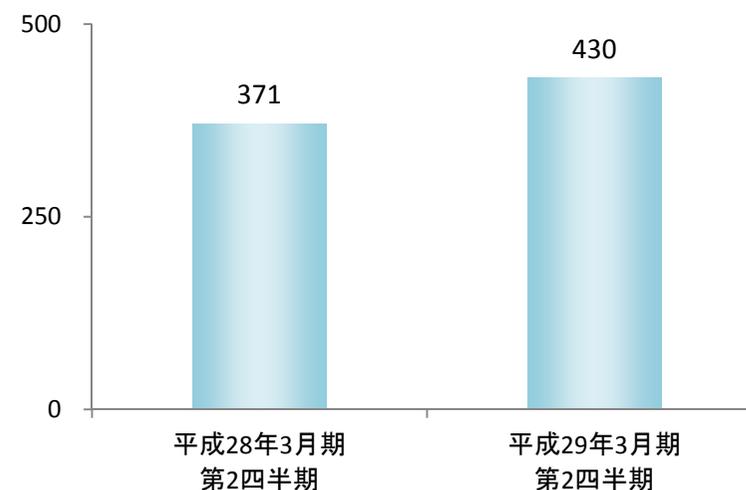
28億7百万円(前年同期比5.4%減)

(注) 売上高は、当社設定の特定商品の実績です。

水質、大気、排ガスの計測・分析機器、放射線量計、電力監視、破碎機、集塵システム、清掃洗浄装置、水処理装置、路面清掃車、床面洗浄機、オイル清浄度計測器、LED照明、オイル濾過・分離装置、エネルギー関連設備 等

保安・メンテナンス機器

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

4億30百万円(前年同期比15.7%増)

(注) 売上高は、当社設定の特定仕入先・商品の実績です。

ガス検知器、振動計、騒音計、工業用ビデオスコープ、火災検知器、漏油検知器、ポータブル電気テスター、ポータブルガス分析機器 等

※設備・機器の点検、校正業務等も含んでおります。

※品目別とは異なる分類方法により売上高を抜粋しております。

◆原料受入・調合システム

- ▶ 化学プラントユーザーでの原料受入から調合過程までのエンジニアリング業務を含むシステム案件を獲得
- ▶ 子会社双葉テック㈱と連携し、機器調達、ソフトウェアの設計、据付工事までをワンストップで対応

現場の様子(原料・純水・調合タンク、合計13基)

タッチパネルによる
監視・制御

◆環境計測・分析機器（工場排ガス処理設備用機器）

- 地球環境に配慮したクリーンな排ガスの実現に貢献
- 電力会社や石油化学コンビナートで新規設置や老朽化に伴う更新需要が高まっており、販売は堅調に推移中

※当社オリジナル
カタログ抜粋



酸素分析計



酸素濃度計



炉内温度監視



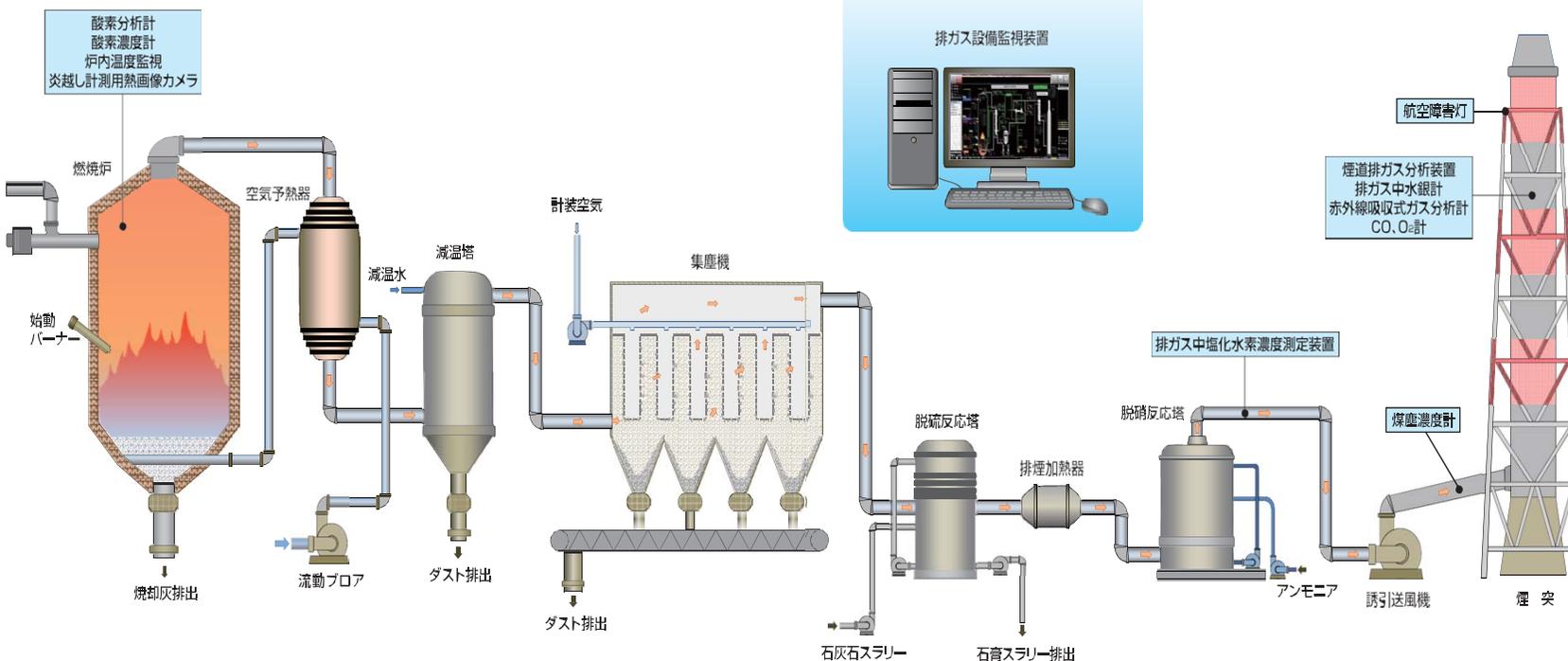
排ガス中塩化水素測定装置



煙道排ガス分析装置



航空障害灯

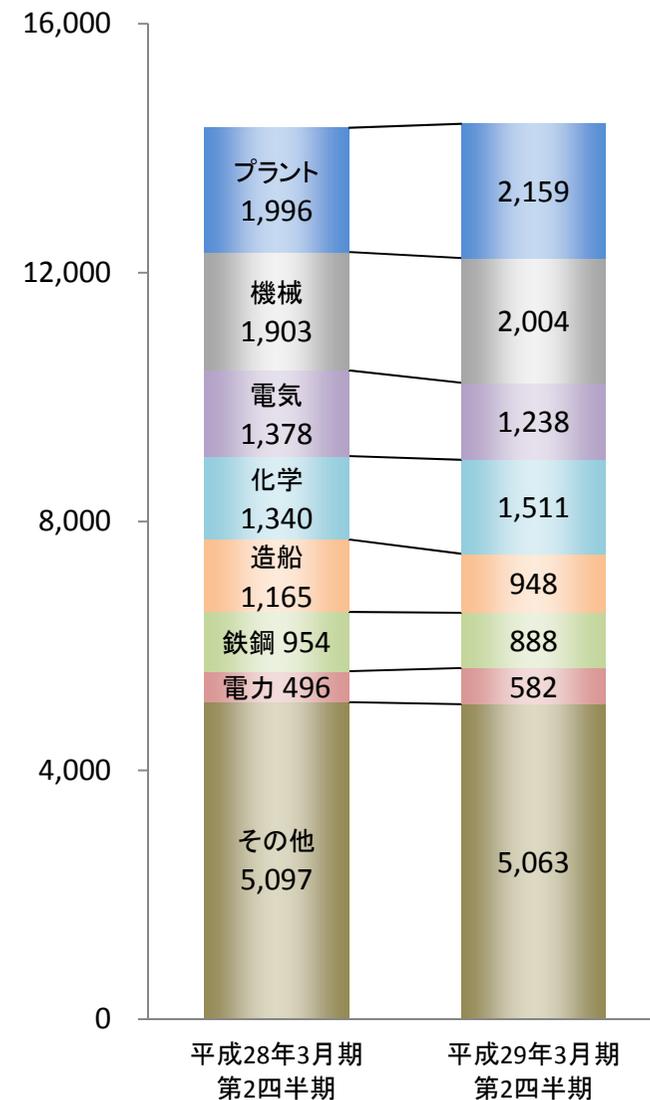


業界別売上高

(百万円)	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	前年同期比	構成比
プラント	1,996	2,159	+ 8.2%	15.0%
機械	1,903	2,004	+ 5.3%	13.9%
電気	1,378	1,238	△ 10.2%	8.6%
化学	1,340	1,511	+ 12.8%	10.5%
造船	1,165	948	△ 18.6%	6.6%
鉄鋼	954	888	△ 6.9%	6.2%
電力	496	582	+ 17.3%	4.0%
その他	5,097	5,063	△ 0.7%	35.2%
合計	14,332	14,396	+ 0.4%	100.0%

増減要因

- ▶ 石油化学コンビナートの定期修理需要を主体とし、化学品製造業やプラント・エンジニアリングにおいて、機器の販売が伸長しました。電力供給業において、老朽化設備の更新に伴う販売が堅調に推移しました。
- ▶ 造船業界では、ディーゼルエンジンの生産調整が行われ、販売が伸び悩みました。



※『機械』に属していた顧客の一部を平成29年3月期第1四半期より『造船』に変更した為、平成28年3月期の売上高も同様に変更しております。

連結貸借対照表

資産

	H28/03	H28/09	増減額
流動資産	18,024	15,738	△2,286
現金・預金	3,820	2,952	△867
受取手形・売掛金	13,368	11,838	△1,530
たな卸資産	593	722	128
その他	242	225	△17
固定資産	3,244	3,346	102
有形固定資産	1,458	1,459	0
無形固定資産	125	107	△17
投資・その他の資産合計	1,660	1,779	118
その他	1,711	1,829	118
貸倒引当金	△50	△50	0
資産合計	21,269	19,085	△2,183

■ 自己資本比率は5.0ポイント増加し、42.6%となりました。
(H28/03時点37.6%)

負債及び純資産

(百万円)

	H28/03	H28/09	増減額
流動負債	11,666	9,423	△2,242
支払手形・買掛金	10,344	8,536	△1,807
1年内返済予定の長期借入金	410	260	△150
引当金	421	265	△155
その他	491	361	△129
固定負債	1,597	1,529	△67
長期借入金	880	846	△34
引当金	183	190	6
退職給付に係る負債	454	469	15
その他	78	23	△55
負債合計	13,264	10,953	△2,310
純資産	8,005	8,131	126
株主資本	7,956	8,081	124
その他の包括利益累計額	48	49	1
その他有価証券評価差額金	44	50	6
為替換算調整勘定	16	8	△7
その他	△12	△9	2
負債・純資産合計	21,269	19,085	△2,183

平成29年3月期 連結業績見通し

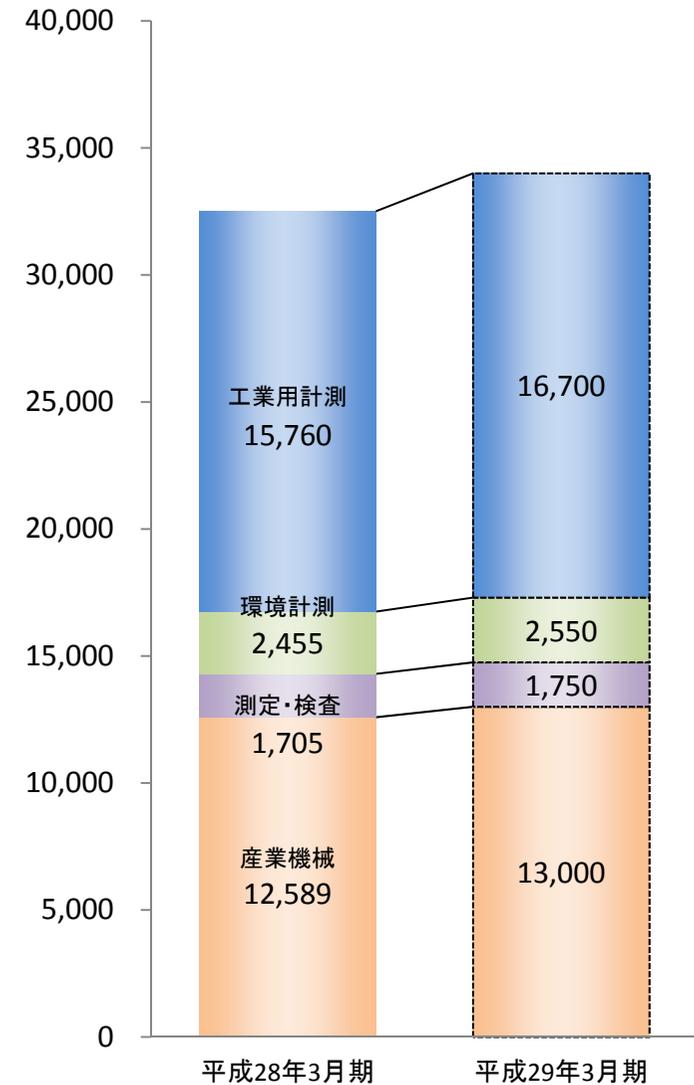
(百万円)	平成28年3月期	平成29年3月期	増減額	前年同期比
売上高	32,510	34,000	+ 1,489	+ 4.6%
営業利益	900	1,030	+ 129	+ 14.4%
経常利益	909	1,030	+ 120	+ 13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	520	660	+ 139	+ 26.8%

業績見通し

- 通期の業績予想につきましては、受注は堅調に推移しており、現時点では平成28年5月9日に発表いたしました業績予想通りであります。

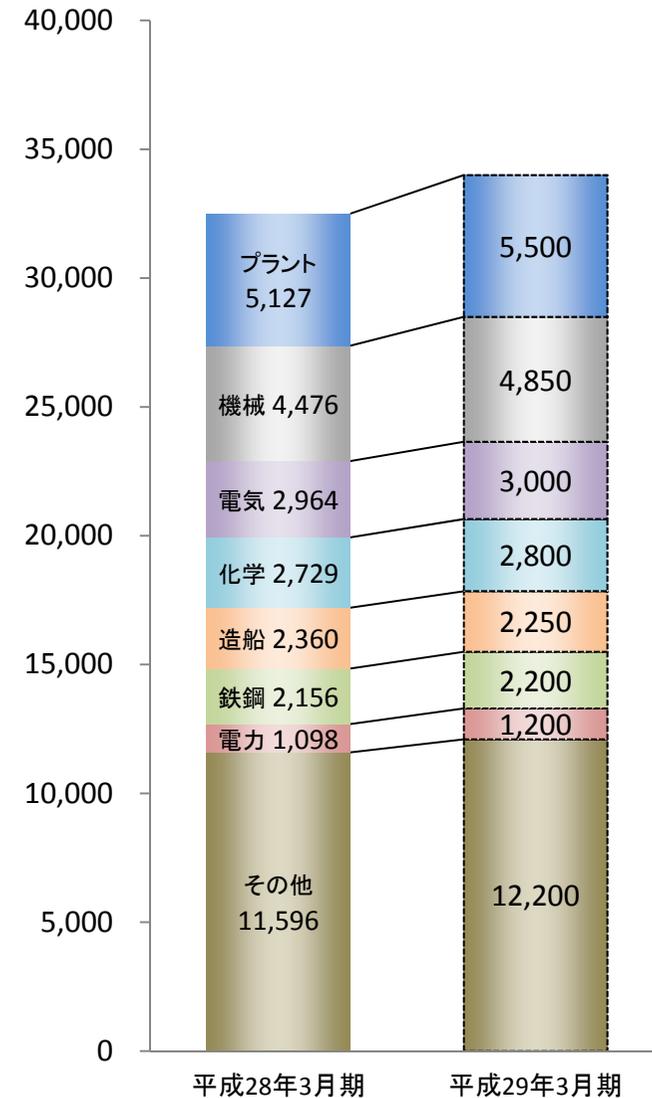
品目別売上高見通し

(百万円)	平成28年3月期	平成29年3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	15,760	16,700	+ 6.0%	49.1%
環境計測・ 分析機器	2,455	2,550	+ 3.8%	7.5%
測定・ 検査機器	1,705	1,750	+ 2.6%	5.2%
産業機械	12,589	13,000	+ 3.3%	38.2%
合計	32,510	34,000	+ 4.6%	100.0%



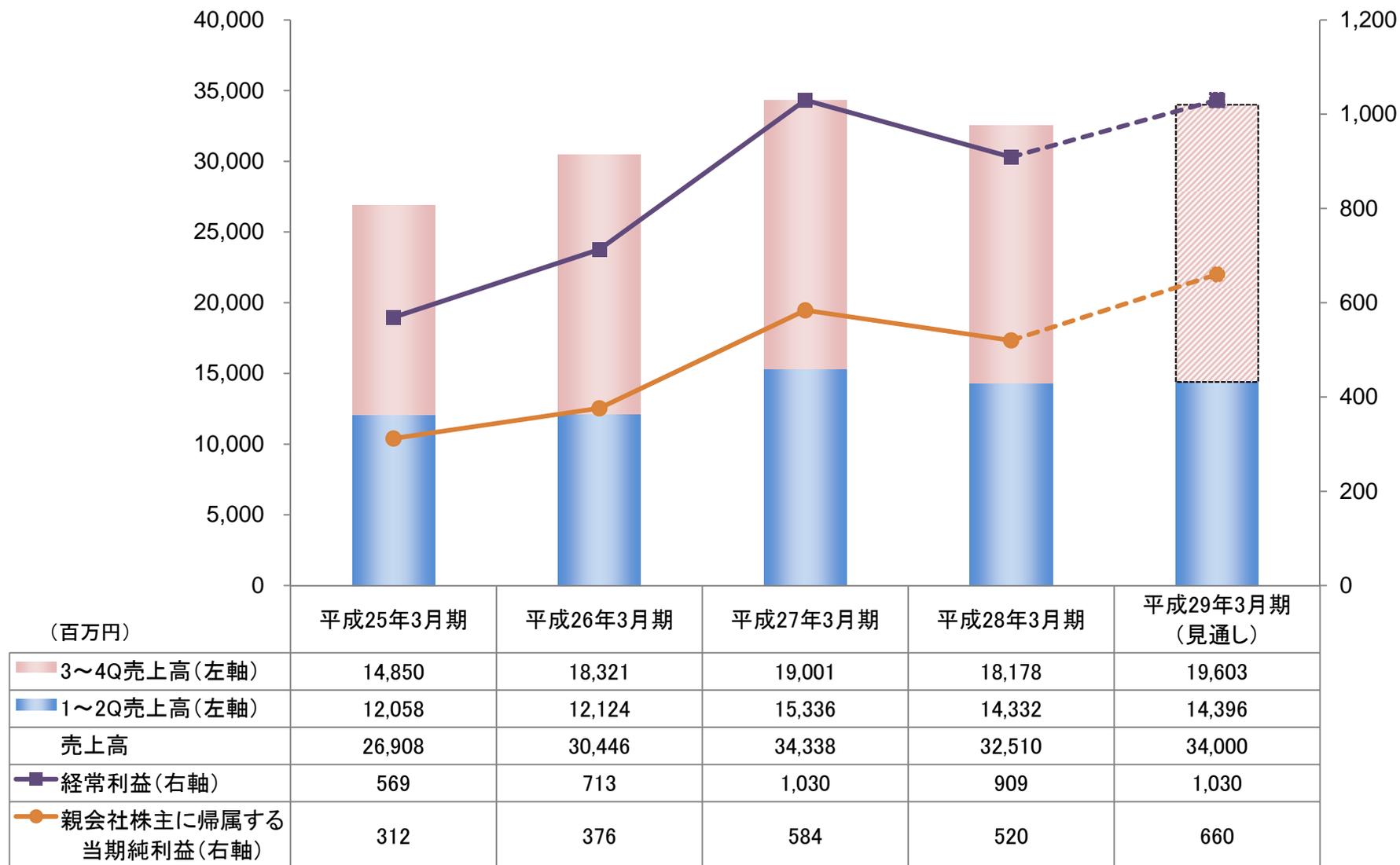
業界別売上高見通し

(百万円)	平成28年3月期	平成29年3月期	前年同期比	構成比
プラント	5,127	5,500	+ 7.3%	16.2%
機械	4,476	4,850	+ 8.4%	14.3%
電気	2,964	3,000	+ 1.2%	8.8%
化学	2,729	2,800	+ 2.6%	8.2%
造船	2,360	2,250	△ 4.7%	6.6%
鉄鋼・ 非鉄金属	2,156	2,200	+ 2.0%	6.5%
電力	1,098	1,200	+ 9.2%	3.5%
その他	11,596	12,200	+ 5.2%	35.9%
合計	32,510	34,000	+ 4.6%	100.0%



※『機械』に属していた顧客の一部を平成29年3月期第1四半期より『造船』に変更した為、平成28年3月期の売上高も同様に変更しております。

連結業績推移



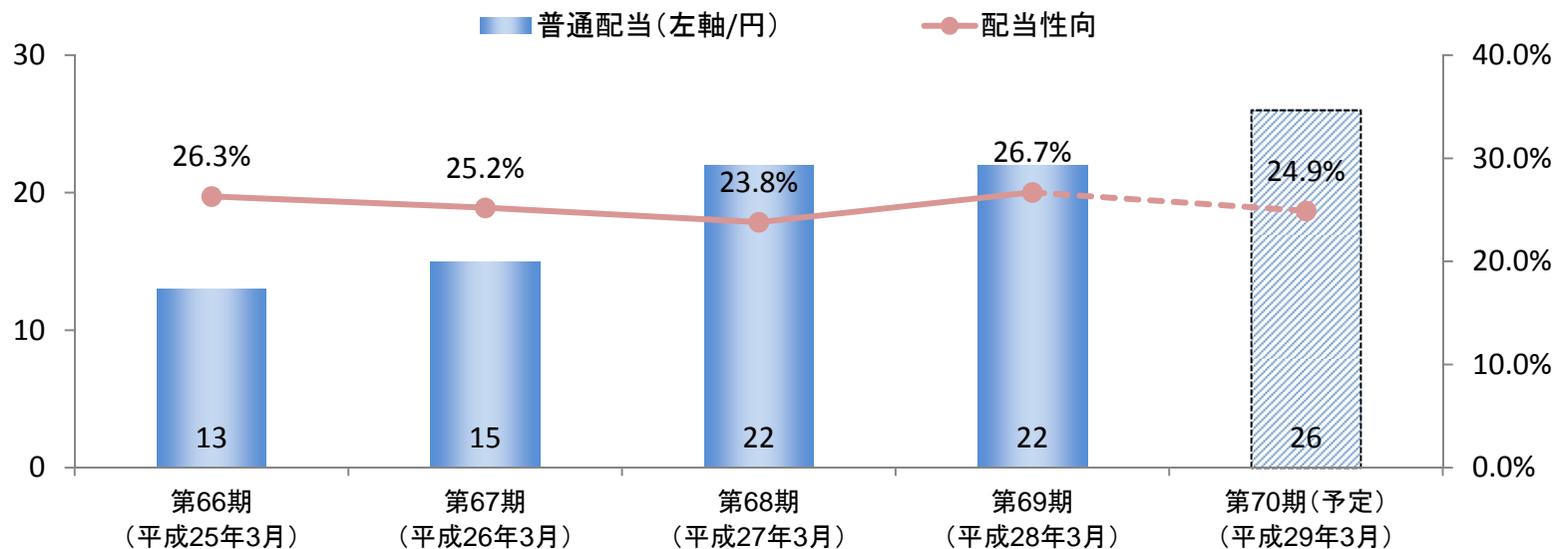
※平成26年3月期第3四半期より、東武機器(株)を連結子会社としております。

株主還元策

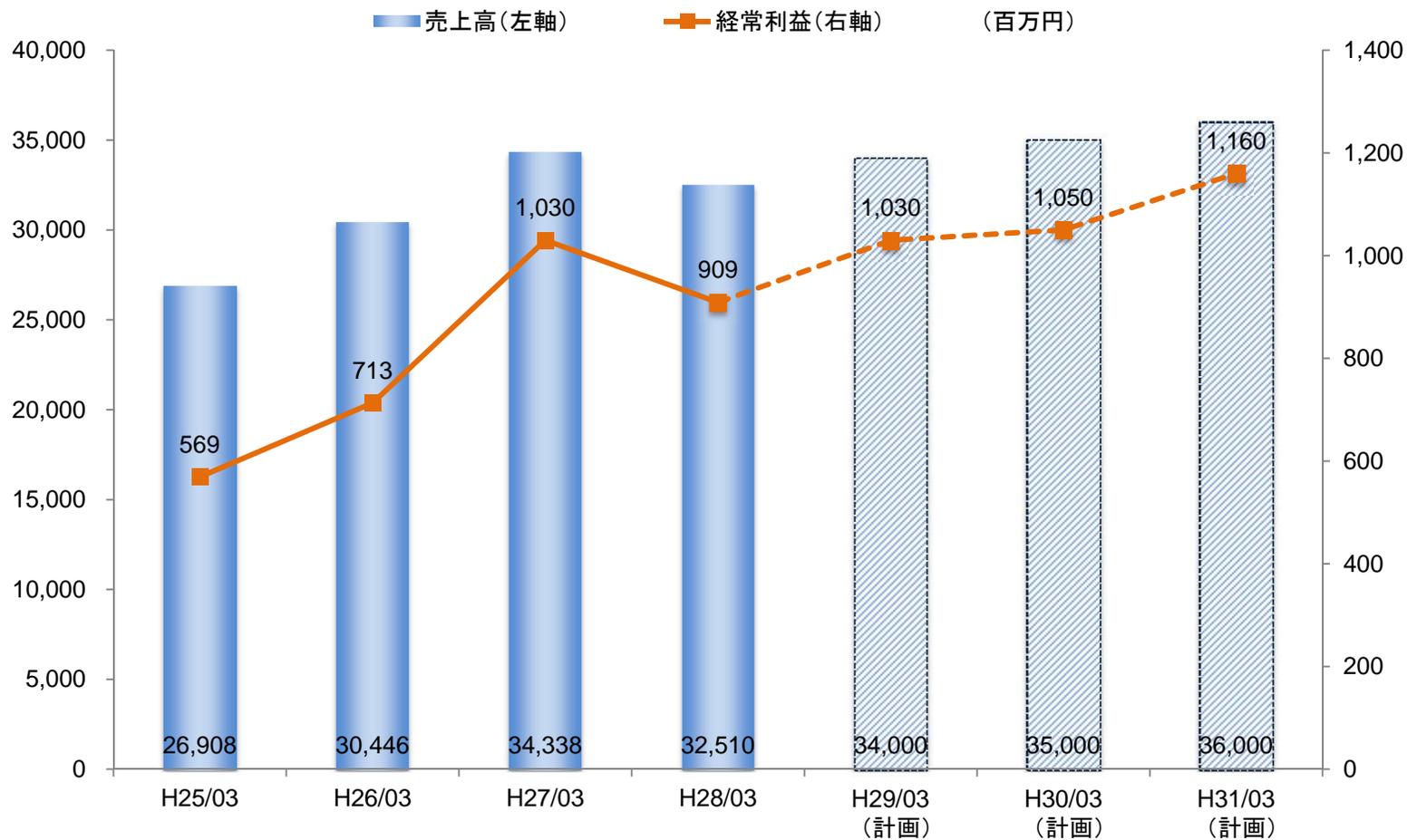
【配当政策】

配当額:1株につき年10円を最低限維持 ・ 配当性向:30%を目標

	第66期 (平成25年3月期)	第67期 (平成26年3月期)	第68期 (平成27年3月期)	第69期 (平成28年3月期)	第70期(予定) (平成29年3月期)
普通配当	13円	15円	22円	22円	26円
配当性向	26.3%	25.2%	23.8%	26.7%	24.9%



中期3ヵ年経営計画



	H25/03	H26/03	H27/03	H28/03	目標
ROE (株主資本利益率)	4.6%	5.4%	7.8%	6.6%	8.0%

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: ir-info@eiwa-net.co.jp

URL: <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。